

- ・ 受検にあたっての注意事項

< 即日検査を受検される方へ >

HIV 即日検査とは？

現在、保健所等での HIV スクリーニング検査には通常、“ HIV 抗体検査 ” が用いられています。“ 抗体検査 ” は方法が比較的容易で、いろいろな検査キットも開発されており、HIV スクリーニング検査として広く用いられている方法です。

即日検査は、この抗体スクリーニング検査法の 1 つで、迅速診断キットを用いて行います。採血から約 1 時間半後に判定が可能なことから、皆様にスクリーニング検査結果を検査当日にお知らせすることができるようになりました。

即日検査で
陰性
の場合

感染リスクのある行動から 3 ヶ月以上経過してから検査を受けた場合は、「 HIV に感染していない 」ことを意味します。まだ 3 ヶ月経過していない場合は、HIV に感染していないことを確定するために、3 ヶ月以上たってから再度検査を受けることをお勧めします。

即日検査で
要確認検査
の場合

即日検査で「要確認検査」となった場合には、より精度の高い方法で確認検査をおこないます。迅速検査では 100 人に 1 人 (1 %) ぐらいの人が HIV に感染していないのに陽性となることがあるため、確認検査により、本当に HIV に感染しているのか、感染していないのに陽性となったのか、見分ける必要があります。このため、もし即日検査で要確認検査となった場合には、後日確認検査の結果を聞くため再度来て頂くことが必要になります。

感染リスクのある行動からどれくらいの期間が経っていますか？

感染リスク
のある行動
から 3 ヶ月
以内の場合

HIV に感染しても感染初期には血液中に抗体やウイルスが検出されない期間があります。このため、感染初期に検査をすると、感染していても検査で陰性となることがあります。

つまり、検査前 3 ヶ月以内に感染機会があった場合、感染の可能性を完全に否定するためには、上記のように感染機会から 3 ヶ月以上経ってからの再検査が必要です。